

平成 15 年度

総会・第 1 回研究協議会

日 時：平成 15 年 5 月 30 日(金)

場 所：さいたま市(ホテルブリランテ武蔵野)

関東地区公立中学校修学旅行委員会

(事務局 : 財団法人 全国修学旅行研究協会)

平成 15 年度総会・第 1 回研究協議会次第

開会のことば 運営委員長 後藤 明
あいさつ 前会長 小島 敏之
会 長 柿崎 龍夫
(財)全国修学旅行研究協会理事長 中西 朗

議 事 (議長：会長)

平成 15 年度委員会構成について(役員、運営委員、地区委員)	1
平成 14 年度活動報告	2
1. 概 況	2
2. 連合体計画輸送等	2
3. 調査研究活動	4
4. 陳情・要請活動	6
5. 会議体の概況	8
各県修学旅行委員会(対策部会)活動について	9
会計決算、監査報告	15
平成 15 年度事業計画	16
1. 活動方針	16
2. 会議日程	16
3. 活動計画内容	17
4. 事業予算	28
5. その他	29
その他	30
1. 関西の旅について	
2. 2005 年日本博覧会について	

閉会のことば 笠井運営副委員長

資料

1. 関修委規定類(会則、 会計規定、 旅費規定)
2. JR 東海ニュースリリース
3. 関修委監修 修学旅行ガイドブック「関西の旅」他
4. 2005 年愛知万国博覧会リーフレット

平成15年度 関東地区公立中学校修学旅行委員会名簿

2003/5/30

県	役職	氏名	県内役職	学校名	〒	所在地	TEL
茨城県	副会長	金澤 昭男	校長会長	水戸市立千波中学校	310-0836	水戸市元吉田町599-2	029-248-4080
	運営委員	笠井 通	委員長	水戸市立第五中学校	310-0903	水戸市堀町1166-1	029-251-1414
	運営委員	八木岡 忠	副委員長	水戸市立見川中学校	310-0912	水戸市見川2-67-12	029-241-2309
	研究委員	山形 一男	副委員長	日立市立中里中学校	311-0403	日立市東河内町1953	0294-59-0344
	地区委員	宮本 英雄	監事	土浦市立土浦第二中学校	300-0052	土浦市東真鍋町21-7	0298-21-0808
	地区委員	早瀬 長利	監事	下館市立北中学校	308-0007	下館市折本895	0296-22-2334
	地区委員	根本 孝	監事	玉造町立玉造中学校	311-3512	行方郡玉造町甲2807	0299-55-0131
栃木県	会長	柿崎 龍夫	校長会長	宇都宮市立陽北中学校	321-0962	宇都宮市今泉町47-2	028-621-8491
	運営委員長	後藤 明	修学旅行部長	宇都宮市立豊郷中学校	321-0975	宇都宮市関堀町350	028-624-8201
	運営委員	越井 文夫	-	河内町立田原中学校	329-1115	河内郡河内町下田原1722	028-672-0008
	研究委員	久保 徹	修学旅行部次長	宇都宮市立城山中学校	321-0345	宇都宮市大谷町1423	028-652-0108
	地区委員	小堀 悠次	修学旅行部副部長	茂木町立逆川中学校	321-3626	芳賀郡茂木町飯1650	0285-65-0011
	地区委員	神山 学	修学旅行部副部長	葛生町立葛生中学校	327-0507	安蘇郡葛生町中央西3-4-1	0283-85-2169
	地区委員	大根田 民雄	専門委員	今市市立小林中学校	321-2352	今市市小林2384	0288-26-8100
	地区委員	鈴木 善雄	専門委員	壬生町立壬生中学校	321-0214	下都賀郡壬生町壬生甲2770	0282-82-6690
	地区委員	青木 勇樹	専門委員	小山市立乙女中学校	329-0214	小山市乙女1731	0285-45-3600
	地区委員	上岡 暁	専門委員	栃木市立栃木西中学校	328-0053	栃木市片柳町2-15-40	0282-22-5711
	地区委員	吉成 東	専門委員	塩谷町立大宮中学校	329-2332	塩谷郡塩谷町大宮2475	0287-46-0009
	地区委員	人見 政昭	専門委員	塩原町立塩原中学校	329-2924	那須郡塩原町中塩原364	0287-32-2919
	地区委員	堀江 真樹	専門委員	烏山町立境中学校	321-0617	那須郡烏山町上境1404	0287-82-2293
	地区委員	富田 治夫	専門委員	佐野市立吾妻中学校	327-0046	佐野市村上町30	0283-22-3949
地区委員	若林 光男	専門委員	足利市立愛宕台中学校	326-0325	足利市高松町433	0284-71-9029	
群馬県	副会長	川合 功	校長会長	前橋市立第五中学校	371-0801	前橋市文京町3-20-5	027-221-5975
	研究委員	橋爪 俊吉	委員	伊香保町立伊香保中学校	377-0102	北群馬郡伊香保町伊香保544-16	0279-72-2132
	地区委員	加藤 敏明	委員	渋川市立金島中学校	377-0027	渋川市金井2007-1	0279-22-2547
	地区委員	深沢 博行	委員	桐生市立南中学校	376-0006	桐生市新宿3-3-19	0277-44-4484
	運営委員	川嶋 勝芳	委員	前橋市立元総社中学校	371-0852	前橋市総社3060	027-253-5481
	地区委員	高木 成雄	委員	富岡市立富岡中学校	370-2343	富岡市七日市1116-1	0274-62-1741
	運営委員	中島 智雄	委員長	新治村立新治中学校	379-1414	利根郡新治村布施238	0278-64-0351
	地区委員	治田 正	事務局長	沼田市立沼田西中学校	378-0031	沼田市蓮根町3580	0278-22-3055
	地区委員	伊能 隆則	委員	長野原町立西中学校	377-1411	吾妻郡長野原町応桑1543-310	0279-85-2249
埼玉県	副会長	吉田 允男	校長会長	上福岡市立福岡中学校	356-0017	上福岡市上野台3-3-1	049-261-0142
	運営委員	中山 亮	修学旅行専門部部長	さいたま市立大宮北中学校	330-0805	さいたま市大宮区寿能町1-21	048-641-1214
	研究委員	羽角 行雄	副部長	吉川市立南中学校	342-0041	吉川市保672	048-982-1066
	運営委員	梅津 稔	副部長	飯能市立南高麗中学校	357-0054	飯能市下直竹1061	0429-72-3808
	運営委員	坂手 修一	部員	富士見市立水谷中学校	354-0011	富士見市水子3117	049-254-5335
	地区委員	富田 政博	部員	行田市立埼玉中学校	361-0025	行田市埼玉4143-1	048-559-4204
	地区委員	竹村 昭治	部員	蓮田市立平野中学校	349-0135	蓮田市井沼932	048-766-9003
	地区委員	増田 恒憲	部員	杉戸町立東中学校	345-0013	北葛飾郡杉戸町椿250	0480-38-2005
	地区委員	増田 正博	部員	所沢市立安松中学校	359-0023	所沢市東所沢和田2-19	042-944-7100
	地区委員	竹内 延夫	部員	滑川町立滑川中学校	355-0803	比企郡滑川町福田700	0493-56-2239
	地区委員	松下 道夫	部員	さいたま市立木崎中学校	330-0044	さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-17-1	048-886-4302
	地区委員	高橋 三郎	部員	川口市立北中学校	333-0835	川口市道合364-2	048-295-1008
	地区委員	高橋 豊明	部員	鳩ヶ谷市立鳩ヶ谷中学校	334-0002	鳩ヶ谷市本町4-8-5	048-281-1010
	地区委員	白井 隆	部員	朝霞市立朝霞第三中学校	351-0023	朝霞市溝沼1043-1	048-464-7575
	地区委員	秋池 功	部員	吹上町立吹上北中学校	369-0100	北足立郡吹上町鎌塚550	048-548-0081
	地区委員	新井 裕一	部員	長瀬町立長瀬中学校	369-1304	秩父郡長瀬町本野上	0494-66-0027
	地区委員	田村 純夫	部員	神泉町立神泉中学校	367-0311	児玉郡神泉町下阿久原1088	0274-52-2768
地区委員	秋元 進	部員	熊谷市立大麻生中学校	360-0835	熊谷市大麻生35-1	048-532-3575	
地区委員	鍋木 良夫	部員	草加市立松江中学校	340-0013	草加市松江町3-14-33	048-936-9903	
千葉県	副会長	石毛 成昌	校長会副会長	船橋市立船橋中学校	273-0865	船橋市夏見2-11-1	047-422-8121
	運営委員	森 収	委員長	流山市立南流山中学校	270-0164	流山市流山2539-1	04-7159-2551
	運営委員	石井 光一	副委員長	富津市立天羽中学校	299-1608	富津市岩坂108	0439-67-0615
	研究委員	石畑 榮一	副委員長	松戸市立根本内中学校	270-0021	松戸市小金原1-30	047-343-1268
	地区委員	笠島 三夫	幹事	市原市立東海中学校	290-0265	市原市今富477	0436-36-1682
	地区委員	鈴木 晴男	幹事	船橋市立小室中学校	270-1471	船橋市小室町898	047-457-1865
	地区委員	大須賀 武次	幹事	白井市立南山中学校	270-1423	白井市南山1-6-1	047-492-1441
	地区委員	川尻 眞	幹事	佐原市立新島中学校	287-0816	佐原市佐原八4428	0478-56-0702
地区委員	東條 照司	幹事	茂原市立西陵中学校	297-0065	茂原市緑ヶ丘1-53	0475-22-8011	
監事	小島 敏之	前会長		348-0041	羽生市大字上新郷1829-20	048-561-3851	
全修協		中西 朗	(財)全国修学旅行研究協会 理事長				
	事務局	柳川 達郎	"	理事・調査研究部長	102-0074	東京都千代田区九段南2-6-8	03-5275-6651
	"	吉野 憲二	"	部長			

平成14年度活動報告

1. 概況

子ども達の夢と希望を育む修学旅行が、安全かつ経済的に行われるためには関係機関と協力して行う連合体輸送を基幹事業とする本委員会の役割はますます大きいものとする。

平成14年度、連合体計画輸送として4月17日から9月15日までの延べ153日間、798校12万5,924人の安全で快適な輸送を行った。また、平成16年度修学旅行の新幹線計画輸送の割り付け(778校11万5,876人)を行った。研究活動としては、第38回の関東地区公立中学校修学旅行研究発表会を開催した。修学旅行の多様化が進む中、教育性を高めるための研究会や修学旅行での体験を通じた学習活動の調査研究活動を行ってきた。

なお、本年度4回の研究協議会(含む総会)と3回の研究並びに編集委員会が開催された。

2. 連合体計画輸送等

(1) 平成14年度修学旅行の実施状況

[表 - 1] 旅行方面・列車別輸送実績(全体)

(単位：校、人)

方 面 ・ 列 車	運行期間	校 数	参加生徒数	
関 西	A	4/17～7/08	470	79,115
	B	5/08～6/05	236	30,878
	C	5/08～6/19	85	14,746
	秋期	9/10～9/17	6	1,119
東 北	春季	5/23	1	66
合 計		798	125,924	

[表 - 2] 県別、旅行方面・列車別輸送実績

(単位：校、人)

方面・列車	茨 城	栃 木	群 馬	埼 玉	千 葉	合 計	
関西	A	41 7,430	96 14,342		228 38,793	105 18,550	470 79,115
	B	92 13,353	31 3,423	41 3,563	42 6,515	30 4,024	236 30,878
	C	1 135			52 8,956	32 5,655	85 14,746
	秋期		1 135		5 984		6 1,119
東北			1 66				
合 計	134 20,918	128 17,900	42 6,629	327 55,248	167 28,229	798 125,924	

(上段：校数、下段斜字：人員)

(2) 平成 16 年度修学旅行新幹線専用列車の割付

[表 - 3] 全体輸送計画校数・人員

(単位: 校、人)

区分 年度	関西方面						東北方面		総合計	
	春季		秋季		合計		春季		校数	人員
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員		
16年度	766	113,878	10	1,761	776	115,639	2	237	778	115,876
15年度	772	120,489	8	1,390	780	121,879	5	745	784	122,624

[表 - 4] 平成 16 年度 コース別・県別輸送計画校数・人員

(単位: 校、人)

方面・コース		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
関西	A	40 6,615	98 14,237	3 151	219 35,443	98 15,956	458 72,402
	B	87 11,629	22 2,246	36 3,069	46 6,776	33 4,371	224 28,091
	C	2 264			44 7,428	38 5,693	84 13,385
	秋期				10 1,761		10 1,761
東北/山形						2 237	2 237
合計		129 18,508	120 16,483	39 3,220	319 51,408	171 26,257	778 115,876

(上段: 校数、下段斜字: 人員)

(3) JR 東日本・JR 東海との意見交換会

日時 10月17日(木) 第3回研究協議会

内容

<p>1. 東海道新幹線について</p> <p>(1) 14年度の総括と今後の展望について ダイヤ改正の予定。 品川駅開業予定と開業による修学旅行への影響。 連合体運転開始日を全体的に後ろにずらすことの可能性。</p> <p>(2) 安全確保について 学校側への注意喚起・要望点。</p> <p>(3) サービス向上について 車内放送で簡単な沿線案内を復活してほしい。</p> <p>(4) 平成16年度も新横浜乗車をお願いしたい</p> <p>2. 東北方面への連合体新幹線利用について</p> <p>(1) 東北方面への拡大策について 現在の連合体規模でも、引き続き、集約対応を希望。</p> <p>3. 継走列車について</p> <p>(1) 継走列車の料金割引について</p> <p>(2) 継走列車の座席確保について 東北新幹線(宇都宮・小山)、上越新幹線(高崎・熊谷)からの新幹線利用及び座席確保について、今以上に改善してほしい。</p>

(4) 東海道新幹線への乗り継ぎ列車の料金割引陳情 (対 JR 東日本)

陳情月日 平成 14 年 9 月 27 日(金)

陳 情 者 竹越運営委員長、全修協：中西理事長、黒田理事、三上部長

陳情要旨 関修委連合体集約列車(東海道新幹線)への乗り継ぎ列車として、東北・上越新幹線並びに房総特急を利用するの学生団体について、その利用特急料金を連合体輸送の一部として、東海道新幹線と同様の割引率(5割引)を適用していただきたい。適用開始時期は、平成15年4月からを希望する。

回答内容 次ページを参照ください。

(5) 修学旅行専用列車出発式

4月17日、平成14年度春季関修委連合体最初の乗車校である、8校1,204名(土浦市立第六中、荃崎町立荃崎中、牛久市立牛久第一中・牛久第二中、宇都宮市立星が丘中、真岡市立大内中、佐野市立佐野西中、葛生町立葛生中)の代表生徒、各学校長並びに関修委、全修協、JR東海の関係者が出席し、東京駅新幹線ホームにて出発式を行った。

3. 調査研究活動

(1) 研究発表会・大会

第38回関修委修学旅行研究発表会 (11月15日・さいたま市)

主 催 関東地区公立中学校修学旅行委員会、(財)全国修学旅行研究協会

後 援 埼玉県教育委員会ほか

テーマ 「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」

発表校 「自ら学び自ら考える力の育成を目指す修学旅行」

埼玉県神泉村立神泉中学校 渡辺勝徳教諭、関口陽子教諭

「総合的な学習の時間の視点から見た修学旅行」

埼玉県飯能市立南高麗中学校 梅津 稔 校長

参加者 260名

第19回全国修学旅行研究大会 (11月22日・名古屋市)

主 催 (財)全国修学旅行研究協会

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会

後 援 文部科学省ほか

テーマ 「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」

発表校 「生徒が主体的に取り組む修学旅行」

三重県四日市市立西陵中学校 今村新次 教諭、坂倉徳子 教諭

「自ら考え ともに学ぶ修学旅行」

- 総合的な学習の時間「ともに生きる」の中に位置付けて -

愛知県稲沢市立明治中学校 横田里志 教諭

講 演 「新しい学校づくりと修学旅行」

文部科学省初等中等教育局 宮川八岐 視学官



本 営 第 7 1 8 号

平成 14 年 10 月 16 日

関東地区公立中学校修学旅行委員会
会 長 小 島 敏 之 殿
財団法人 全国修学旅行研究協会
理 事 長 中 西 朗 殿

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 大塚 陸毅

回答書

関東地区公立中学校修学旅行委員会、財団法人 全国修学旅行研究協会におかれましては、ますますご発展のこととお慶び申し上げます。また、平素より修学旅行の誘致につきましては、格段のご尽力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、先日、貴委員会、貴協会よりいただきました「連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金割引措置」に対するご要望について下記のとおりご回答申し上げます。

記

関東地方から東海道新幹線を利用する平成15年度の連合体コースの多くが平日の7時台から9時台に東京駅を発車する内容で、この時間帯に東京駅で乗継ぎができる東北・上越新幹線や在来線の列車は通勤時間帯のため、一度に大勢がご乗車される学生団体のご利用や学生団体専用の臨時列車の設定などは困難であり、事前のコース登録もできないのが現状です。

したがいまして、「連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金割引措置」のご要望にお応えできないことを何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、通勤以外の時間帯または土休日発のコースにつきましては、連合体輸送の乗り継ぎ列車の特急料金に対して連合体指定列車と同等の割引を適用することを前向きに検討してまいりたいと考えます。

今後とも貴委員会・貴協会には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

以上

参加者 292名

関修委からの出席：茨城県・石井義一校長、群馬県・伊能隆則校長
埼玉県・中山 亮 校長

(2) 専門委員会活動

研究委員会

平成14年度関東地区公立中学校修学旅行実施状況調査

実施の概況、体験学習の状況、班別自主研修の状況、今後の修学旅行に対する考え方、を調査した。

調査結果は、平成14年度関東地区公立中学校修学旅行実施状況報告書として、11月15日開催の研究発表会にまとめとして報告するとともに関修委ホームページに掲載した。

編集委員会

前回の改訂から5年を経た修学旅行参考資料「関西の旅」の部分改訂と、修学旅行しおりの位置付け・ねらいを考察し「しおり」のあるべき姿を研究した。その成果は、研究委員会報告とあわせ11月15日開催の研究発表会にまとめとして報告するとともに関修委ホームページに掲載した。

4. 陳情・要請活動他

(1) 平成15年度修学旅行費等補助金の増額陳情

陳情月日 文部科学大臣 = 平成14年7月22日、財務大臣 = 9月18日

陳情者名 関修委、東海修委、近公修委、あおぞら号運営協、全修協

支給対象 要保護、準要保護並びに3級以上の僻地校の児童生徒

陳情内容及び決定額

行事種別	学校種別		要望額	決定額
修学旅行	中学校		56,100円	55,900円
	小学校		20,800円	20,600円
校外活動	中学校	宿泊を伴う場合	5,940円	5,840円
		宿泊を伴わない場合	2,280円	2,180円
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570円	3,470円
		宿泊を伴わない場合	1,700円	1,510円

(2) 継走臨列車の割引陳情

2の連合体計画輸送等に前述

(3) 東海道新幹線品川駅開業(平成15年秋)に伴う修学旅行団体への対応要請

要望月日 平成14年10月1日

要望要旨 関修委連合体集約列車については、品川駅開業後も、乗り継ぎの安全性、利便性、所要時間等を鑑み、現行の東京駅発着を継続するよう要望する。
品川駅開業に伴うダイヤ改正が行われても、修学旅行専用電車の発着時間に大幅な変更が無いよう要望する。

要望者 全修協理事長

回答内容 次ページを参照ください。



平成 14 年 10 月 16 日

財団法人 全国修学旅行研究協会 御中

東海道新幹線品川駅開業に伴う連合体輸送についてのご要望内容について

東海旅客鉄道株式会社
営業本部販売計画課

財団法人 全国修学旅行研究協会におかれましては、ますますご発展のこととお慶び申し上げます。また、平素より修学旅行連合体輸送につきましては、格段のご尽力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、先日、貴協会よりいただきました「東海道新幹線品川駅開業に伴う連合体輸送についての要望書」の内容につきましては、弊社関係箇所と密に連絡を取っておりますが、平成 15 年秋に予定されておりますダイヤ改正は、高速列車体系の整備、品川駅開業等による抜本的な輸送改善を行うものであり、現時点では、改正日をはじめ概要について具体的にお答えできる状況ではございません。

また、概要発表時期等今後のスケジュールにつきましても、誠に申し訳ございませんが、現時点では関係各所との調整・整理ができておりませんので、お答えできる段階にございません。

なお、ご要望いただきました内容につきましては、引き続き関係箇所と連絡を取りまして、貴協会のご希望に沿えるよう努力して参りたいと考えております。種々の情報につきましては、お知らせできることとなった段階で、前広に貴協会にご連絡をさせていただきたいと考えておりますので、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

5. 会議体の概況

会議名	開催月日等	内 容
総会及び研究協議会等	総会 第1回	H14.06.07 千葉県千葉市 平成13年度会務報告並びに会計決算、会計監査報告 平成14年度役員選出 平成14年度事業計画案並びに予算案 平成16年度輸送計画基本大綱案
	第2回	H14.09.17 東京都・上野 平成14年度修学旅行の実施状況について 平成16年度修学旅行新幹線について(申込み状況等) 第38回研究発表会について(各県参加要請等) 陳情・要請、JRとの意見交換会について
	第3回	H14.10.17 東京都・上野 平成16年度修学旅行新幹線輸送計画の決定 第38回研究発表会について 陳情、要請活動の結果報告 JR 東日本・JR 東海との意見交換会
	代表役員会	H15.01.31 おおみや市 平成15年度事業方針等検討
	第4回	H15.02.21 東京都・上野 平成15年事業計画(案)協議
研究委員会	第1回	H14.06.07 千葉県千葉市 平成14年度実施状況調査の方針等について
	第2回	H14.09.17 東京都・上野 実施状況調査の中間報告及びまとめの方向について
	第3回	H14.10.17 東京都・上野 実施状況調査のまとめについて
編集委員会	第1回	H14.06.07 千葉県千葉市 「関西の旅」部分改訂と「しおり」考察についての方針等
	第2回	H14.09.17 東京都・上野 部分改訂等の途中経過
	第3回	H14.10.17 東京都・上野 「関西の旅」部分改訂内容、「しおり」考察まとめの検討
三地区	総会	H14.06.26 東京都 平成13年度三地区会務報告 平成14年度事業計画について

三地区は、当委員会並びに東海三県中学校修学旅行委員会(愛知・岐阜・三重の3県)、近畿地区公立中学校修学旅行委員会(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の2府4県)と(財)全国修学旅行研究協会で構成する修学旅行連絡会です。修学旅行に関する陳情・要請、調査活動、情報・意見交換等を行なっています。毎年1回1月に連絡会を開催します。

Ⅲ 各県修学旅行委員会(対策部会)の活動について

平成14年度 茨城県修学旅行委員会事業報告

茨城県修学旅行委員長 石井 義一

1 事業報告

月	日	活 動 内 容	備 考・会 場 場
4	25	県修学旅行委員会役員会・平成13年度会計監査	水戸パルティホテル
5	9	県修学旅行委員会総会 ・平成13年度事業報告・決算報告 ・平成14年度役員選出・事業計画案・予算案審議	教育プラザ茨城
6	7	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会並びに第1回研究協議会	千葉市・ホトワザちば
6	17	取りまとめ文書の発送 ・平成14年度修学旅行の実施状況について ・平成16年度修学旅行専用列車利用に関する調査・申込書	県内全中学校
7	10	文書取りまとめ ・平成14年度修学旅行の実施状況について ・平成16年度修学旅行専用列車利用に関する調査・申込書	県内全中学校
9	17	関東地区公立中学校修学旅行委員会第2回研究協議会	東京文化会館
10	7	茨城・栃木合同修学旅行委員会	栃木・リゾートくらら
10	17	関東地区公立中学校修学旅行委員会第3回研究協議会	東京文化会館
11	15	関東地区公立中学校修学旅行研究発表会(38名参加)	さいたま市民会館
11	22	第19回全国修学旅行研究大会	名古屋市 ムラ玉山
12	6	修学旅行関係文書及び資料の送付 ・平成16年度新幹線輸送計画書	県内全中学校
1	31	関東地区公立中学校修学旅行委員会役員・代表者会	さいたま市・ホテルブリランテ武蔵野
2	21	関東地区公立中学校修学旅行委員会第4回研究協議会	東京文化会館
3	13	県修学旅行委員会役員会・平成14年度会計監査	レイクビュー水戸

2 課 題

- 修学旅行新幹線の計画輸送参加への理解と加盟促進
- 県修学旅行委員会の組織の確立
- 平成16年度関修委研究発表会の組織作り

1 事業報告

月	日	活 動 内 容	会 場
4	23	第1回県修学旅行部会 ・ 県役員選出，組織づくり，関修委代表選出， ・ 事業計画，活動内容の検討 ・ 県研究発表校決定	教育会館
6	7	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会並びに 第1回研究協議会に参加	千葉市
	23	第2回県修学旅行部会 ・ 平成16年度専用列車申込書配布，提出の説明 ・ 平成14年度実施報告書の提出の説明	教育会館
7	10	・ 栃木市立西中学校へ研究発表校依頼 ・ 宇都宮市国本中学校へ研究発表校依頼	栃木市 宇都宮
	18	・ 平成16年度修学旅行輸送計画申込書提出締切 ・ 平成14年度修学旅行実績報告書提出締切 ・ 関修委へ提出	
9	20	関修委第2回研究協議会 ・ 輸送計画調整	東京
10	7	栃木県・茨城県合同輸送計画調整会議 ・ 栃木県11名・茨城県6名参加	宇都宮
	17	・ 関修委第3回研究協議会 ・ 平成16年度専用列車輸送計画決定	
11	15	第17回全国修学旅行研究発表会埼玉大会	さいたま市
	29	・ 栃木県校長会58名参加 「平成16年度修学旅行新幹線輸送計画書」配布 平成14年度実施報告書配布	
平成15 1	31	平成14年度役員・代表者会議 ・ 年間行事活動報告と新年度対策	さいたま市
2	21	関修委第4回研究協議会 ・ 平成14年度会計報告 ・ 平成15年度事業計画	東京
3	15	平成15年11月17日関東修学旅行研究栃木大会 開催打ち合わせ	

2 課題

- ・ 生徒数及び学校数減少により参加人数の減少に対する対策
- ・ 関西の旅の利用拡大
- ・ 平成15年11月17日関東修学旅行研究栃木大会実施計画及び開催打ち合わせ

平成14年度群馬県修学旅行委員会事業報告

群馬県修学旅行委員長 伊能 隆則

事業報告

月	日	内 容	会 場
5	23	第1回群馬県修学旅行委員会 ・平成14年度組織編成 ・群馬県修学旅行委員会事業計画	沼田市立西中学校
6	7	関東地区公立中学校修学旅行委員会総会 第1回研究協議会	千葉市ポートプラザ ちば
6	13	平成16年度修学旅行専用列車申込書配付	群馬県内全中学校へ
7	1	平成16年度修学旅行専用列車申込書とりまとめ	
7	24	第2回群馬県修学旅行委員会 ・平成14年度修学旅行の反省点等の情報交換 ・平成16年度修学旅行専用列車の組み合わせ	長野原町立西中学校
9	20	関東地区公立中学校修学旅行委員会第2回研究協議会	東京文化会館
10	17	関東地区公立中学校修学旅行委員会第3回研究協議会	東京文化会館
11	15	第38回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会	さいたま市民会館お おみや
11	22	第19回全国修学旅行研究大会	名古屋市ホテルブ ラ王山
11	28	群馬県中学校長会全体研究協議会 ・平成16年度修学旅行専用列車輸送計画書配付 ・関西の旅等資料配付	伊香保温泉ホテル天 坊
1	31	関東地区公立中学校修学旅行委員会役員・代表者会	さいたま市ホテルブ リランテ武蔵野
2	21	関東地区公立中学校修学旅行委員会第4回研究協議会	東京文化会館
2	26	第3回群馬県修学旅行委員会 ・関修委研究協議会の報告 ・平成14年度群馬県修学旅行委員会の運営の反省 ・平成15年度群馬県修学旅行委員会の運営	渋川市立金島中学校

課題

- 関東地区公立中学校修学旅行委員会の活動の理解
- 修学旅行における総合的な学習の時間の効果的な活用

		輸送計画について JR と意見交換 その他	
1 1	1 5	第 3 8 回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会埼玉大会 大会主題「みんなで創ろう 21 世紀の修学旅行」 関修委情報提供 発表 1 「自ら学び自ら考える力の育成を目指す修学旅行」 埼玉県神泉村立神泉中学校 発表 2 「総合的な学習の時間の視点から見た修学旅行」 埼玉県飯能市立南高麗中学校	市民会館おのみや（参加者約 3 0 0 名）
1 1	2 2	第 19 回全国修学旅行研究大会名古屋大会参加 大会主題「みんなで創ろう 21 世紀の修学旅行」 発表 1 「主体的に取り組む修学旅行」 三重県四日市市立西陵中学校 発表 2 「自ら考え、ともに学ぶ修学旅行」 愛知県稲沢市立明治中学校	名古屋市ルプラ王山
1 2	2	修学旅行研究発表会埼玉大会終了報告	県教委市教委
1	3 1	関修委平成 14 年度役員・代表者会の開催参加	プリランチ武蔵野

平成 15 年度 埼玉県中学校長会修学旅行対策部活動計画

月	日	活 動 内 容	場 所
5	1 6	県中学校長会第 54 回全体研修会・総会	市民会館うらわ
	21、22	全日本中学校長会総会	虎ノ門ホール
	2 3	県中学校長会修学旅行対策部第 1 回部員研修会	大宮行政センター
6	1 1	関東甲信越地区中学校長会群馬大会 (6/11.12.13)	伊香保町
6	1 7	県中学校長会修学旅行対策部第 2 回部員研修会	大宮行政センター
1 0	23.24	全日本中学校長会茨城大会	県民文化センター
2	6	県中学校長会全体研修会	市民会館うらわ
	2 0	県中学校長会修学旅行対策部第 3 回部員研修会	大宮行政センター

1. 事業報告

月日・曜	活動内容	会 場
5.8 (火)	第1回千修委研究協議会 ・平成13年度活動報告等 ・平成14年度役員決定、活動方針、主要行事計画について	千葉市立 本町小
6.7・8(金・土)	関東修学旅行委員会総会並びに第1回関修委研究協議会	千葉県・千葉市
6.18 (火)	第2回千修委研究協議会 ・平成14年度活動計画の調整について ・平成15年度専用列車申込の概要説明と用紙の配布等 ・平成14年度修学旅行実施調査活動アンケートについて	教育会館
7.15 (月)	平成14年度実施報告・平成16年度専用列車申込 ・報告書及び申込書の締め切り（各校→各地区委員→委員長）	柏市立 豊四季中
7.26 (金)	取りまとめ会議・数名の委員で取りまとめ（171校 26,261名）	
9.20 (金)	第2回関修委研究協議会 ・平成14年度実施状況報告 ・国庫補助金陳情・平成16年度輸送計画 ・関修委研究発表会さいたま大会について ・JR各社への陳情について	東京 文化会館
10. 2 (火)	第3回千修委研究協議会 ・平成16年度輸送計画点検と配布の留意点 ・研究発表会の事前協議	教育会館
10.17 (金)	第3回関修委研究協議会及びJR2社との意見交換会 ・国庫補助金陳情報告について ・輸送計画点検と配布計画・関修委研究発表会千葉大会	東京 文化会館
11.15 (金)	第38回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会さいたま大会	さいたま市
11.22 (金)	第19回全修協研究大会（都合で千葉県から不参加）	名古屋市
1.31 (金)	関修委役員代表者会議・年間事業活動の反省と新年度対策	千葉県教育会館
2.21 (金)	第4回関修委研究協議会・年間事業活動の反省と新年度対策	東京 文化会館

2. 次年度の課題

- ・「関西の旅」等の学習資料の利用増進。
- ・加盟校の増加促進（新横浜停車の活用。東北・山形新幹線の利用）
- ・旅行業者決定手順について。

IV 平成14年度決算報告・監査報告

関東地区公立中学校修学旅行委員会

1. 収入の部

(円)

勘定科目	項目	予算額	収入額	差異	摘要
助成金	全修協助成金	2,648,500	2,648,500	0	
収入合計		2,648,500	2,648,500	0	

2. 支出の部

(円)

勘定科目	項目	予算額	支出額	差異	摘要
会議費	総会	350,000	340,969	9,031	会場費・出席者交通費・宿泊費・懇親会費
	研究協議会・ 専門委員会	400,000	381,328	18,672	会場費・出席者交通費・飲み物代
	研究発表会	500,000	462,171	37,829	会場費・設営費・資料作成費・反省会費
	その他会議・ 行事・渉外	50,000	105,565	△ 55,565	役員代表者会・出発式・陳情等交通費他
	小 計	1,300,000	1,290,033	9,967	
交通費	事務局交通費	50,000	6,700	43,300	各県修学旅行委員会等事務局出張交通費
	小 計	50,000	6,700	43,300	
通信運搬費	通信連絡	50,000	96,090	△ 46,090	郵便料金・宅急便料金・はがき代
	小 計	50,000	96,090	△ 46,090	
印刷製本費	輸送計画書	250,000	350,138	△ 100,138	輸送計画書印刷代
	実施状況調査	50,000	63,084	△ 13,084	実施状況調査票等印刷代・報告書印刷代
	その他印刷	0	31,500	△ 31,500	関修委封筒作成費
	小 計	300,000	444,722	△ 144,722	
諸謝金	講師謝礼金	0	0	0	
	小 計	0	0	0	
助成金	各県委員会 (部会)助成金	948,500	948,500	0	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県
	小 計	948,500	948,500	0	
支出合計		2,648,500	2,786,045	△ 137,545	

3. 差引残高

(円)

収入合計	2,648,500
支出合計	2,786,045
収支合計	△ 137,545

※△137,545円は全修協より補填

上記のとおり、支出報告いたします。

平成15年5月30日 事務局

吉野 憲二



監査の結果、適正であると認めます。

平成15年5月30日 監事

佐藤 美小五



監事

森 連



平成 15 年度事業計画

1. 活動方針

修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追及し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。

連合体輸送ののぞましい在り方について研究を深める。

2. 会議日程

会議名		会議内容	開催日	開始時刻	会場地
総会 研究協議会	第1回研究協議会 (総会と兼ねる)	事業計画大綱決定	5月30日(金)	14時	さいたま市
	第2回研究協議会	輸送計画の調整	9月19日(金)	14時	東京(上野)
	第3回研究協議会	輸送計画の決定 JRとの意見交換会	10月17日(金)	14時	東京(上野)
	第4回研究協議会	年間事業活動の反省 と新年度対策	平成16年 2月19日(木)	14時	東京(上野)
	役員代表者会議	年間事業活動の反省 と新年度対策	平成16年 2月5日(木)	14時	宇都宮市
専門 委員会	第1回研究会	調査内容の検討	5月30日(金)	13時	さいたま市
	第2回研究会	調査データの考察他	9月19日(金)	13時	東京(上野)
	第3回研究会	調査データのまとめ	10月17日(金)	13時	東京(上野)
	第4回研究会	新年度対策	平成16年 2月19日(木)	13時	東京(上野)

各県別分担事項一覧

平成15年度茨城県にて全日中茨城大会開催のため16年栃木県と交換。

項目	平成 10年	平成 11年	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年
会長選出県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	栃木県	茨城県	群馬県
総会当番県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	栃木県	茨城県
研究発表県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	栃木県	茨城県	群馬県

3. 活動計画内容

(1) 平成15年度修学旅行新幹線輸送計画の実施について

[表 - 1] 旅行方面・列車別輸送実績(全体) (単位: 校、人)

方面・列車		運行期間	校数	人員
関西	A	4/17～6/25 (除4/25～5/6)	382	63,699
	B	5/7～6/9	287	38,438
	C	5/7～6/26	103	18,352
	秋期	9/10～9/17	8	1,390
東北	春季	5/20～5/21、6/4	5	745
合計			785	122,624

運転期間は出発日ベース

[表 - 2] 県別、旅行方面・列車別輸送計画数 (単位: 校、人)

方面・列車		茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
関西	A	40 6,590	94 14,859		162 27,035	86 15,215	382 63,699
	B	89 12,413	30 2,837	37 3,159	93 15,157	38 4,872	287 38,438
	C	2 402			61 10,952	40 6,998	103 18,352
	秋期				8 1,390		8 1,390
東北			1 56		4 689	5 745	
合計	131 19,405	124 17,696	38 3,215	324 54,534	168 27,774	785 122,624	

上段: 校数、下段斜字: 人員

(2) 平成17年度修学旅行新幹線輸送計画の策定について

ア 割り付けスケジュール

月日	内容	
5月30日(金)	輸送計画の大綱決定(総会・第1回研究協議会)	
7月16日(水)まで	各学校から各県委員長へ連合体への利用申込み書送付	
8月6日(木)	各県委員長より事務局へ県申込み集計送付	
8月下旬～10月上旬	割付作業	
各県 割付 会議	10月7日(金)	茨城県・栃木県合同
	8月下旬	群馬県
	8月下旬	埼玉県
	10月3日前後	千葉県
10月17日(金)	調整、最終案の決定(第3回研究協議会)	
11月28日(金)	正式発表	

決定(発表)後の期日の変更は各県の修学旅行委員長に申し出て協議する。
原則として各県内での交換調整が可能な場合には変更を認めるものとする。

イ 割付ローテーション

A・Bコース 茨城県 / 栃木県 / 群馬県 千葉県 埼玉県
Cコース 千葉県 茨城県 埼玉県

ロ 割付設定月(新幹線運行月)

5月連休明け(集約列車受付期間の終了後)からの実施とし、7月第一週中の終了(出発日ベース)を原則とする。但し、申込み人数によっては、4月の設定も行い連合体ルールによる7日間の実施を行う。

県別割り当ての目安

19ページを参照下さい。

ハ 輸送申込み書式について

申込み書(通知文)、申込み要項、申込み書

20ページ～23ページを参照下さい。

ニ 輸送計画の調整・計画決定及び計画書の作成等

調整・計画決定日

- ・ 10月17日第3回研究協議会で最終調整を行い、計画を決定する。
- ・ 最終調整は、従前どおり出発日表示の計画書にて行う。
計画書の作成・配布
- ・ 参加校2部、独自校1部、地教委1部
- ・ 全体計画書と県別計画書の2種類とし、参加校・独自校の配布は県別計画書とする。
計画書必要部数・送付先等については、別途確認書を事務局より送付します。

ホ 輸送計画の発表

11月28日(金)を正式発表日とする。

併せて、発表日にホームページ上に掲載し、12時オープンとする。

(3) 研究調査活動について

ア 第39回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会

期 日 11月14日(金) 13時30分開会

実施担当 栃木県修学旅行委員会

会 場 プラザ・イン・くろかみ(宇都宮市)

研究発表校 「自己決定の場面を生かした修学旅行」

宇都宮市立国本中学校

「体験的な学習を通して見つめなおす自分とふるさと再発見の旅」

栃木市立栃木西中学校

開催計画 ...24ページを参照ください。

イ 平成15年度修学旅行実施状況調査

調査内容 15年度実施時状況、体験学習事例、総合的な学習と修学旅行の関わり等、研究委員会で検討

調査票(案) ...25ページ～26ページを参照ください。

平成17年度(2005年) 県別割付の目安

平成17年度割付ローテーション 茨城・栃木・群馬 千葉 埼玉
 Aコース申込み人員によっては、4月出発の設定を行いません。下表は目安です。
 平成17年度集約受付禁止期間(上下とも) 4月28日(木)～5月8日(日)

A コース

・運行予定期間 61日間 ・運行予定日 5/10(火)～7/09(土)

5/10(火)	5/21(土)	6/7(火)	6/9(木)	7/9(土)
・5/10～5/21 茨城県 12日間・6,700名		5/21 群馬県 1日間・200名		6/10～7/9 埼玉県 30日間・36,000名
・5/10～6/7 (除く6/1～6/5) 栃木県 24日間・14,300名		5/21～6/9 千葉県 20日間・16,000名		

B コース

・運行予定期間 24日間 ・運行予定日 5/10(火)～6/2(木)

5/10(火)	5/17(火)	5/19(木)	5/22(日)	6/2(木)
・5/10～6/2 茨城県 24日間・10,800名				
・5/10～5/17 群馬県 8日間・3,100名		・5/18～5/22 栃木県 5日間・2,500名		・5/22～6/2 埼玉県 12日間・5,700名
・5/10～5/19 千葉県 10日間・4,500名				

C コース

*1日1校出発予定 (1日最大400名)

・運行予定期間 35日間 ・運行予定日 5/10(火)～6/13(土)

5/10(火)	5/24(火)	6/13(月)
5/10～5/24 千葉県 15日間・6,000名		・5/25 茨城県 1日間・300名 ・5/25～6/13 埼玉県 20日間・7,500名

秋期・関西コース

*1日1校出発予定 (1日最大400名)

・運行予定期間 10日間 ・運行予定日 9/10(土)～9/19(月)

9/10(土)	9/19(月)
9/10～9/19 埼玉県 10日間・1,800名	

東北コース

・運行予定日 5/10(火)～5/31(火)

5/10(火)	5/31(火)
東北/専用列車	
東北混乗	230名
山形	140名～200名
東北・山形併用	

平成 15 年 月 日

各 中 学 校 長 様

県中学校長会
会 長
県修学旅行委員会
委員長

**平成 17 年度 関西・東北・山形方面修学旅行
専用列車申込みについて (通知)**

このことについて、下記により申込みを受付いたします。
学期末ご多忙のことと存じますが、下記並びに申込み要項を十分にご検討のうえ、期日までにご提出下さい。

記

申込みについて

- 1 申込み方法：所定の申込み用紙でお願いいたします。
- 2 希望コース：関西・東北・山形のいずれか一方を申込み下さい。
- 3 申込みの希望の有無に関わらず必ずご回答下さい。
- 4 申込み締切日：7月16日(水) 必着でお願いいたします。
- 5 取り消し・変更
利用校の出発日別割付の最終決定後(平成15年10月17日頃)は、取り消し・変更は原則としてお受けできませんので、あらかじめご承知おき下さい。
(取り消し・変更により、1列車当りの乗車人数が1,000名以下になると専用列車の運行が出来なくなり、定期列車利用となり数本の列車に分散され同日乗車の他校に多大な迷惑をかけることとなります)
- 6 その他：申込書は必ずコピーをとり、学校控えとして保管して下さい。
- 7 申込みの希望の有無に関わらず、「平成15年度修学旅行実施状況」も必ずご提出下さい。

申込み先・問合せ先
県 修 学 旅 行 委 員 会
委員長
市立 中学校
〒 所在地
Tel
Fax

平成17年度関東地区公立中学校 修学旅行専用列車利用申込み要項

修学旅行専用列車とは

関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の中学校長会の代表で構成する、関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委)が運営し、JR が運行する東海道新幹線、東北新幹線、山形新幹線の修学旅行専用の臨時列車及び定期混乗列車を利用します。利用方面・区間は以下の通りです。

方面	路線名	コース名	利用区間	備考
関西	東海道新幹線	関西 A・B・C・ 関西 秋季 C	東京～新大阪	C は定期混乗
東北	東北新幹線	東北	上野～盛岡	
	山形新幹線	山形	東京～山形・新庄	定期混乗のみ
	東北・山形新幹線	東北・山形併 用	上野～盛岡、 東京～山形・新庄	定期混乗のみ

- 1 各県修学旅行委員会で申込みの集約及び列車割付を行い、関修委の研究協議会で関東5県全体の調整・決定を行います。
- 2 平成17年度は、茨城県・栃木県・群馬県 千葉県 埼玉県の順で割付を行います。

計画輸送の特典と利点及び制約事項

1 次ぎの特典と利点があります

- (1) 実施時期の調整により、シーズンの一極集中化を防ぎ宿泊施設の確保が容易により、実施時期が平準化され、旅行業者は、計画輸送参加校に優先的な宿泊施設の提供をしている。
- (2) **特急料金が50%割引**になる。
(割引額-往復- 東京～京都間 5,240 円、上野～盛岡間 5,450 円、東京～山形間 5,250 円)
- (3) 計画輸送の期間中に運賃改定があった場合でも、計画輸送期間が終了するまで、旧運賃が適用される。
- (4) 上記(2)、(3)については引率者も同じ扱いとなる。
- (4) 実施の2年前から、専用列車が設定され座席が確保できる。従って、修学旅行実施の第一条件の輸送が早期に確定し、宿舍の確保も早くできる。

2 次ぎのような制約があります

- (1) 割付終了後の「取り消し・期日変更」は、原則お断りします。やむを得ない事情がある場合、次ぎの条件が必要となります。
取り消し・変更後の穴埋めに、代替校がある場合。
取り消し・変更は、自県内での処理が原則です。
取り消し・変更により1列車当りの乗車人数が一定人数(東海道新幹線 1,000 名、東北新幹線 500 名)以下になると専用列車の運行が出来なくなります。それによって定期列車利用となり数本の列車に分散され、同日乗車の他校に多大な迷惑をかけることとなります。
- (2) 追加申込みは、座席に余裕がある場合に受付けます。この場合、期日の指定はできません。
- (3) 必ず、往復利用となります。

17 年度計画輸送について

1 専用列車運行形態 (予定)

出発時間は平成 15 年度輸送時刻です。ダイヤ改正で変更の場合があります

方面	路線名	コース名	運行期間	運行区間	出発時間帯	乗降可能駅	1日当り計画人数	特記事項
関西	東海道新幹線	A	5/10 ~ 7/9	東京駅 ~ 新大阪駅	東京駅発 8 時 10 分頃	京都	1,200 名	
		B	5/10 ~ 6/2	東京駅 ~ 新大阪駅	東京駅発 10 時 30 分頃	京都	1,200 名	
		C	5/10 ~ 6/13	東京駅 ~ 新大阪駅	東京駅発 7 時 30 分頃	京都	400 名	
		秋季 C	9/10 ~ 9/19	東京駅 ~ 新大阪駅	東京駅発 7 時 30 分頃	京都	400 名	
東北	東北新幹線	東北	5/10 ~ 5/31	上野駅 ~ 盛岡駅	上野駅発 8 時 14 分頃	往路か復路で 仙台一関	600 名	郡山・福島・白石蔵王での乗降は不可
		専用臨時列車を予定。500人に満たない場合は定期列車混乗となります。						
	新山形線	山形	5/10 ~ 5/31	東京駅 ~ 山形駅 新庄駅	東京駅発 8 時 36 分頃	山形	通期 140 名 最大限 200 名まで	定期列車混乗利用
東北・山形新幹線	東北・山形併用	5/10 ~ 5/31	東京駅 ~ 新庄駅 盛岡駅	東京駅発 8 時 36 分頃	山形 仙台一関			

- (注1) 運行期間は申込みの人数により、4月の設定を行いません。
- (注2) 「関西方面 A コース」での「新横浜駅乗車」の、平成 17 年度の取扱いは未定です。
- (注3) 「東北コース」で計画人数 500 名に満たない場合は、定期列車混乗となります。
- (注4) 定期混乗とは、定期列車の利用です。一般乗客と同じ車両に同乗することがあります。
- (注5) 東北新幹線は列車により停車駅が大きく異なっています。ダイヤ改正により時刻、停車駅が変わる場合があります。

2 車椅子等の使用について

東海道新幹線は、車椅子対応座席が 11 号車のみとなります。専用列車の場合、出来るだけご希望に添うよう座席の調整をいたします。

3 継走列車 (予定)

	路線名	利用予定列車・編成	列車当り定員	特記事項	
在来線 (臨時)	常磐線	651 系 11 両編成	602 名	・1 日 1 列車を運行 ・左記編成車両のいずれかを 使用	
		653 系 7 両編成	466 名		
		415 系 11 両編成	720 名		
新幹線	上越新幹線	吾妻線・上越線・ 両毛線・高崎線	183 系 6 両編成 183 系 10 両編成	380 名 600 名	・1 日 2 列車を運行 ・左記編成車両のいずれか ・10 両の運転は 1 日 1 列車のみ
		東北線	183 系 6 両編成	380 名	
		東北新幹線		250 名限度	

平成17年度	関東地区公立中学校修学旅行専用列車利用申込書
--------	------------------------

平成15年 月 日

県修学旅行委員長 様

学校名 :

学校長名 :	(職印)
--------	------

電話番号 :	()
--------	-----

FAX 番号 :	()
----------	-----

- 1 下記のとおり申し込みます。
- 2 申込みしません。

いずれかの番号に○をお付け下さい。2の場合も、下欄に記入の上必ずご提出下さい。

申込み人数	生徒数 名	引率者数 名	合計 名	車椅子使用台数 台	<input type="checkbox"/> 生徒数は平成15年5月1日現在で記入				
方面	申込みコース・予定乗降駅 <small>* 利用コースには 印を、予定乗降駅は番号を記入ください。</small>			東京駅・上野駅までの利用交通機関					
	コース(をつける)	往路下車	帰路乗車	往路	帰路				
関西	1. A (東京駅発 08:10 頃) 2. B (東京駅発 10:30 頃) 3. C (東京駅発 07:30 頃) 4. 秋季 (東京駅発 07:30 頃)	利用駅名	1. 名古屋駅 2. 京都駅 3. 新大阪駅 4. 盛岡駅 5. 一ノ関駅 6. 仙台駅 7. 山形駅 8. 新庄駅	利用機関名	1. JR の臨時列車 2. 東北新幹線 3. 上越新幹線 4. JR 定期列車 5. 私鉄電車 6. 貸切バス 7. 東京駅集合/解散				
東北	5. 東北 (上野駅発 08:14 頃)								
山形	6. 山形 (東京駅発 08:36 頃)								
山形	7. 東北・山形 (東京駅発 08:16 頃)								
山形	8. 山形・東北 (東京駅発 08:36 頃)								
開校記念日						月 日(曜日)			
分離統合等						学校名	中学校	生徒数	名
平成 年 月 (分離 統合) 予定									
新横浜乗車が可能になった場合は希望する(で囲む)。 ・希望する									
その他									

申込みしない場合も、下記にご記入の上必ずご提出をお願いいたします。

申込みしない場合	旅行先(方面)	
	実施予定時期	平成17年 月 日 ~ 月 日 (日間)
	利用交通機関	1. 東海道新幹線 2. 東北新幹線 3. 山形新幹線 4. 貸切バス 5. 在来線(a. 専用列車 b. 定期列車) 6. その他()

第39回関東地区公立中学校修学旅行研究発表会開催計画

- 1 主 催 関東地区公立中学校修学旅行委員会
財団法人 全国修学旅行研究協会
- 2 後 援 栃木県教育委員会 (予定) ・ 宇都宮市教育委員会 (予定)
茨城県 ・ 群馬県 ・ 埼玉県 ・ 千葉県 各県教育委員会 (予定)
茨城県 ・ 群馬県 ・ 埼玉県 ・ 千葉県 ・ 栃木県 各県中学校長会
- 3 期 日 平成15年11月14日 (金)
- 4 会 場 プラザ・イン・くるかみ (宇都宮市)
- 5 テーマ みんなで創ろう21世紀の修学旅行
- 6 日 程
 - 13 : 00 受 付
 - 13 : 30 開会行事 (20分)
開会のことば
主催者あいさつ 関東地区公立中学校修学旅行委員会会長
財団法人 全国修学旅行研究協会理事長
来賓あいさつ 栃木県教育委員会教育長
宇都宮市教育委員会教育長
来賓紹介
 - 13 : 50 関修委調査研究及び活動報告 (10分)
 - 14 : 00 研究発表 1 (30分)
「自己決定の場面を生かした修学旅行」
宇都宮市立国本中学校
 - 14 : 30 研究発表 2 (30分)
「体験的な学習を通して見つめなおす自分とふるさと再発見の旅」
栃木市立栃木西中学校
 - 15 : 00 休 憩 (15分)
 - 15 : 15 研究協議 (30分)
 - 15 : 45 指導講評 (30分)
 - 16 : 15 閉会行事 (10分)
謝 辞

平成 15 年度修学旅行の実施状況について

実施 関東地区公立中学校修学旅行委員会
財団法人 全国修学旅行研究協会

- 記入方法 (1) 各設問の該当する内容の 欄にレ(チェック)を入れて下さい。
(2) 記入欄は、文字(数字)でお答え下さい。

学校名	中学校	市町村名	市・町・村	
学校長名		ご記入者 役 職	学校長 学年主任	教頭 旅行担当

平成 15 年度修学旅行実施の状況

1 実施の概況について

実施時期	平成 15 年 月 日から 日間					
実施方面	東北 広島	会津・日光 海外	伊豆・箱根 その他()	信州	北陸	関西
宿泊地	1 泊目		2 泊目		3 泊目	
旅行費用	生徒一人当り総額 ¥					

2 修学旅行での体験学習について

(1) 体験学習を実施しましたか

実施した

実施しなかった



体験学習の実施形態

学年全体

学級単位

班別

個人

その他()

(2) 実施した体験学習の成果は

(3) どのような体験学習の内容を取り入れたいですか

貴校での修学旅行でのねらいについて

貴校では、どのような「ねらい」を重視されましたか（複数回答可）

集団宿泊訓練	班行動による協力の心の育成	公衆道德の修得
教科学習の発展	総合的な学習の深化	見聞を広め、知識の習得
生徒間の人間関係づくり	自己課題の設定とその追求	
その他	〔 〕	

修学旅行と「総合的な学習の時間」との関わり方について

1 修学旅行の実際に際し、「総合的な学習の時間」との関わりを意識しましたか

意識した 部分的に意識した 意識しなかった

2 修学旅行が「総合的な学習の時間」と関わるものに、どのような活動内容がありますか

国際理解学習	情報学習	環境学習	福祉・健康学習
奉仕・ボランティア活動	農山漁村の学習	地域文化の学習	
地域の産業学習	その他の学習	〔 〕	

3 修学旅行を「総合的な学習の時間」の時数として使っている(カウントする)のは、どの場面ですか

事前学習の時間	旅行中の学習の時間	事後学習の時間
事前・事中・事後すべての時間	カウントしない	

あなたの学校のEメールアドレスをご記入下さい

E-mail アドレス	
-------------	--

【ご協力ありがとうございました】

(3) 陳情・要請活動について

ア 修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

- ・ 陳情者 関修委、東海修委、近公修委、あおぞら号近畿地区運営協、全修協
- ・ 陳情先 文部科学省、財務省
- ・ 陳情予定月 8月・文部科学省、9月財務省

イ 継走臨列車の改善と割引要請

継走列車の改善と特急料金の割引の適用についてJRと交渉してゆく。

ウ その他の陳情・要請活動並びに手法について

ア、イ以外にも必要があれば陳情・要請活動を行う。

陳情・要請の内容によっては、各学校の署名簿を集めるなどして効果的な陳情・要請活動を行う。

(4) 出発式について

平成15年度最初の修学旅行専用電車の出発に伴い、運行の安全と快適な輸送を祈念して出発式を開催する。

- ・ 日 時 平成15年4月17日(木) 7時48分
 - ・ 会 場 東京駅 東海道新幹線19番線ホーム
 - ・ 式参列者 秩父市立秩父第一中学校
さいたま市立岸中学校
さいたま市立与野東中学校
新座市立新座中学校
戸田市立新曽中学校
関修委代表：竹越運営委員長、全修協、JR 東海関係者
- の学校長と代表生徒

4.平成15年度事業予算

(1) 全体予算

(単位：円)

科目	予算額	前年予算額	増・減()	摘要
会議費	1,300,000	1,300,000	0	会場費、出席者交通費・宿泊代、資料作成費、備品代、飲食代、打合せ雑費 (総会、研究協議会、研究発表会、専門委員会)
旅費交通費	50,000	50,000	0	事務局交通費
通信運搬費	50,000	50,000	0	郵便料金、宅急便料、切手
印刷製本費	300,000	300,000	0	案内状、報告書、調査、アンケート等
諸謝金	0	0	0	講師料
助成費	939,000	948,500	9,500	各県修学旅行委員会助成金
支出合計	2,639,000	2,648,500	9,500	

(2) 各県修学旅行委員会への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。

ア 県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数 × 500円)

当該年度の研究発表県には、50,000円をプラスする。

連合体参加校数は前年度輸送計画申込み時点の校数とする。

(単位：校、円)

県名	連合体校数	助成金額	研究発表該当県	助成金額合計
茨城県	129	164,500	-	164,500
栃木県	120	160,000	50,000	210,000
群馬県	39	119,500	-	119,500
埼玉県	319	259,500	-	259,500
千葉県	171	185,500	-	185,500
合計	778	889,000	50,000	939,000

イ 助成金額決定日及び支払日

総会・第1回研究協議会で決定し、6月末日までに各県へ送金。

事務局より、各県修学旅行委員会の口座確認文書を送付します。

5. その他

(1) PR活動について

当委員会の活動並びに修学旅行新幹線輸送計画の理解と利用促進のため、機会あるごとにPRを行う。

「委員会活動と計画輸送への理解を」 別紙

輸送申込み案内、研究発表会、輸送計画書への添付及び掲載 他

(2) その他関係団体・委員会との連携

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会について

期 日 平成16年1月30日(金)

会 場 東京：全日本中学校長会館(予定)

内 容 各地区修学旅行委員会の活動報告、陳情・要請活動及び情報交換 他

出席者 各地区修学旅行委員会より代表 2名

第20回全国修学旅行研究大会について

主 催 財団法人 全国修学旅行研究協会

後 援 文部科学省(予定)ほか

期 日 平成15年10月31日(金)

会 場 東京：日本青年館

テーマ 「みんなで創ろう21世紀の修学旅行」

内 容 ・基調提案、実践報告

・パネルディスカッション(4名ほどのパネリスト)

コーディネーター

石森秀三 先生(国立民俗博物館民俗社会研究部長・教授)予定

全修協第3回修学旅行ホームページコンクールについて

主 催 (財) 全国修学旅行研究協会

後 援(予定) 文部科学省ほか

作品募集期間 平成15年9月1日～11月30日

14年度応募数 476校

(高校163校、中学校296校<内、関東地区23校>、小学校17校)

その他

1. 「関西の旅」(関修委監修・平成14年度部分改訂)について

・11月頃見本を関修委封筒にて各学校へ送付。

2. 2005年日本国際博覧会について